◎第466回9月定例会

岩﨑憲郎町長

○8月6日未明に発生した東土居建物火災

8月6日未明に東土居におきまして火災が発生し、全焼棟数が9棟、一部消失棟数が6棟、合わせて15棟の火災でありました。原因等につきましては現在調査中であります。家屋の焼失等の被害に遭われました皆さま方に心からお見舞いを申し上げます。

○8月24日に発生した運搬車両火災

8月24日の午後2時過ぎ川又（東豊永地区）の林業作業現場におきまして火災が発生し、木材を運搬する運搬車が焼失をいたしました。被害に遭われた方に心からお見舞いを申し上げます。

大杉分団杉部

○嶺北消防団連合会夏季合同演習第32回板送り大会

8月21日に土佐町で開催され、本町の代表として出場した大杉分団杉部がB2級の部で準優勝をしました。消防団員の方々は日頃から地域住民の生活の安全のために貢献をされています。

池添修一教育長

○平成28年度全国中学校体育大会第38回全国中学校ソフトボール大会に出場

嶺北・大豊町・北陵中学校の連合ソフトボール部が、第54回四国中学校総合体育大会で3位となり、去る8月20日に福井県敦賀市きらめきスタジアムで開催された第38回全国中学校ソフトボール大会（全国16チーム）に出場し、1回戦、沖縄県嘉手納中学校と対戦しましたが、惜しくも敗退しました。本町の中学生ソフトボール部が全国中学校体育大会に出場するのは23年ぶりでありました。部員が少ない中で、連合チームでチームプレーの練習ができないというハンディがありながらよく健闘されました。

嶺北・大豊町・北陵中学校連合ソフトボール部

○大豊町中学校3年生の海外研修が無事終了

中学校3年生10人（13人中3人が全国中学校ソフトボール大会出場）が、8月16日から8月25日までの10日間、オーストラリア、ビクトリア州のヘリベリー校での授業に参加したり、同校の生徒と交流する一方、6日間のホームステイなどの研修を行いました。

今後、生徒には国際的視野に立ち、この貴重な体験を自分の将来に生かしていくことを期待しております。この研修に当たり、ご協力をいただいた保護者の皆さんをはじめ関係各位の皆さまにお礼を申し上げます。

海外研修

○大豊町ゆとりすとチャレンジ塾開講式を開催

9月6日に大豊町チャレンジ塾の開講式を行いました。このチャレンジ塾は、学校外教育サービスの一環として生徒の学習意欲を向上させるとともに、個性や才能を伸ばす機会を提供し、加えて子育て世帯の経済的負担の軽減（子育て支援）を図るために、また生徒一人一人の実体に応じたきめ細かな指導を充実（基礎学力の定着）させることを目的としております。本年度の2月まで中学3年生を対象とし9人の生徒が受講。火曜日、水曜日、日曜日の週3回で、時間は曜日によって異なりますが、夜2時間、国語、数学、英語の3教科としており、講師は土佐塾に委託しており、3月からは2年生を対象に計画をしている。生徒が希望する高校に全員が入学できることを期待しております。

大豊町ゆとりすとチャレンジ塾開講式

主な質疑

◎第465回臨時会

前野由和議員

今回の給水区域と、現時点での町内の簡易水道、簡易給水施設等の普及率は何%か。また、今後においては人口減少の中、簡易水道特別会計にとって非常に厳しい状況というのが予測されるのではないか。

小林雅文
産業建設課長

給水区域は、和田集落全域であり、給水戸数26戸、うち2戸は集会所で、実際は24世帯45人である。簡易水道の普及率は70・5%、簡易給水施設は23・9%で水道全体の普及率は、今回の和田集落を含め94・4%となる。

岩﨑憲郎町長

簡易水道の基本的な施設整備費の償還、償却という視点を除いても経営が難しいという事情は前々から抱えてきている。その状況が人口減等によってさらに厳しくなるという状況であるが、水道料自体は決して安いというわけではなく、町として地域の生活する上で大切な水を守っていくという視点での財政的な手当ては、今後とも考え検討していく。

●第466回定例会
一般会計（第2・3回）補正予算

藤丸髙徳議員

総務費の土地の購入費について説明を求める。

宮内伸彦
総務課長

庵谷地区周辺の、風力発電の建設を予定されている場所に県の土地があり、鉄塔用地及び風力発電設備の用地等、計8カ所、3379㎡を購入するため計上している。

前野由和議員

地方創生費の中で、民泊推進という内容になっていると思うが、民泊というと個々の家が受け入れるのと、一定の施設で地域で受け入れることの兼ね合い、そして、例えばラフティングとのセットとか、その辺りの組み合わせとはどう考え推進しているのか。

民泊体験

三谷　淳
プロジェクト推進室長

現在民泊協議会の参加者が39戸あり、宿泊はセットになっており、ラフティングを体験しながら民泊をするということを推進をしている。